

〈ケア〉を考える会-岡山(第42回)

■日時：2019年2月3日(日) 16:00~



■会場：倉敷市真備町箭田 5188 (林道也 宅)

駐車場：「メインセンター遠田」 ⇒ 林宅から北東へ約 100m、
遠田池の堤防下(遠田池の北側)、小さな灯籠・祠とムクノキの大木が目印

■内容

(1) 読書対話 16:00~

「できなくなるということ」

鷺田 清一 著『老いの空白』(岩波現代文庫)

31 ページから 51 ページまでを読んで対話します



(「夜廻り猫」)

▼〈老い〉は、何かをできなくなっているじぶんというものへの気づきをきっかけに現れる。疲れやすくなった、字が見えにくくなった、忘れっぽくなった、酒が弱くなった、無理ができなくなった……。 (P.36-37)
▼「できない」という事態を受け入れるということは、いうまでもなく世界との関係の変容を受け入れるということである。(中略)それは〈世界〉そのものの変容であり、〈わたし〉そのものの変容を意味する。(P.41)
▼ひとは老いのなかで、ひとがだれかある「ひと」であることにより深く直面するようになる (P.43)
▼「できなくなった」という意識は苛むようなかたちでひとを襲う。「できなくなって」いることの気づきは、〈わたし〉がそのようなものとして存在していることの意味への痛切な問いを誘発することが多い。こんなわたしでもここにいていいのだろうか……。と。(P.44)



(2) 懇親会 18:00~

食べながら飲みながら語り合います。

食べ物、飲み物は持ち寄りです。

会費：無料(懇親会で持ち寄りできない方は 1000 円程度のカンパをお願いします)

★どなたでも参加できます(初参加歓迎)。本を読んでいなくても(お持ちでなくても)参加可能。

★申し込み・問い合わせ⇒ 林まで：michi-care@outlook.jp 090-5366-1497

・・・申し込みが必要です。氏名、電話番号、メールアドレス明記の上、林までメール送信願います。
(定員となり参加できない場合のみ、返信いたします)



「〈ケア〉を考える会-岡山」ホームページ
<http://okayama-care.jimdo.com/>

